

診療情報管理士専攻科

授業科目	パソコン演習Ⅱ			担当者	宅野 伸		実務経験
履修方法	演習	期間	通年	学科・学年	専攻科	時間数 (単位数)	60 (2)

授業の目的・内容

MS-Access を用いて、データベース管理の方法を身に付ける。また、情報処理技能検定（データベース）の資格を取得する。

到達目標

- ・MS-Access の基本操作ができる。
- ・情報処理技能検定試験（データベース）（1 級または 2 級）に合格する。

授業計画

【前期】

1. Access とは テーブル①
2. テーブル②
3. フォーム①
4. " ②
5. レポート①
6. " ②
7. クエリ①
8. " ②
9. " ③
10. テーブルの関連付け①
11. " ②
12. 検定試験対策①
13. " ②
14. " ③
15. " ④

【後期】

16. 検定試験対策⑤
17. " ⑥
18. " ⑦
19. " ⑧
20. " ⑨
21. " ⑩
22. " ⑪
23. " ⑫
24. " ⑬
25. " ⑭
26. " ⑮
27. " ⑯
28. " ⑰
29. " ⑱
30. 検定試験、まとめ

事前・事後学習の内容

- ・授業時間内にできなかった課題がある場合、次の授業までに終わらせておくこと。

評価の方法・基準

- ・検定試験の結果（50%）、授業態度（30%）、出席状況（20%）

教科書

- ・『はじめての Access2019』（秀和システム）

備考

授 業 科 目	医学概論			担 当 者	藤木 佑斗		実務経験
履 修 方 法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (2)

授業の目的・内容

医学の歴史、現代の医療、医学用語を学びながら、診療情報管理士資格取得を目的に問題演習を行う。

到達目標

- ・医学用語を理解することができる。
- ・医療法や医療制度を説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 医学と医療
2. 医学の歴史①
3. " ②
4. 医の倫理
5. 社会保障制度、医療制度
6. 医療法、地域医療、予防医学
7. これまでのまとめ
8. 医学用語・概論の復習①
9. " ②
10. " ③
11. " ④
12. " ⑤
13. " ⑥
14. " ⑦
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・授業初めに前回の内容の小テストを実施するので復習しておく。

評価の方法・基準

- ・出席状況に応じてテスト受験可能
- ・学期末テスト(100%)

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅱ 基礎・医学・医療用語編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士教育問題集（基礎）』（一般社団法人 日本病院会）

備考

授業科目	産科学			担当者	城戸 綾 福井 嵩史		実務経験
履修方法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (2)

授業の目的・内容

保険行政では正常妊娠・分娩に関しては病気ではないので健康保険扱いはされない。しかし人間の妊娠中の身体の変化は正に様々であり、しかも正常から異常に簡単に移り易い。まず正常とされることを学び、次に異常とされる病態を学んで将来の診療情報管理士の知識の糧とされたい。

到達目標

- ・診療情報管理士を目指す学生にとって、妊婦につけられた病名を見たとき、どのようなことが母児に起こっているのかを思い描き、またどのように解決されていくかを予想できることが求められる。

授業計画

【前期】

1. 女性生殖器の解剖と生理
2. 正常妊娠の定義とその後の経過、妊娠の届け出、妊娠時期の呼び方
3. 妊娠初期の正常（妊娠悪阻、母体の変化）
4. " の異常（異所性妊娠、多胎妊娠、流産）
5. 妊娠中期の正常（胎動、羊水、胎盤の位置）
6. " の異常（IUD、前置胎盤、流早産）
7. 妊娠高血圧症候群とその定義の変遷
8. 妊娠後期の正常（肺サーファクタント、羊水量の評価）
9. " の異常（胎盤早期剥離、切迫早産、IUGR、DIC、HELLP 症候群、骨盤位、反屈位）
10. まとめ①
11. 正常分娩（分娩時間、出血量、分娩方法）
12. 分娩の異常（早産、過期産、前期破水、陣痛微弱、CPD、帝王切開、吸引分娩）
13. 分娩周辺の異常（弛緩出血、羊水塞栓、会陰裂傷、頸管裂傷、子宮破裂、産褥熱）
14. 新生児の評価（定義、アプガールスコア、TTN、黄疸）
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・まとめの問題の復習

評価の方法・基準

- ・出席(20%)、筆記試験(80%)

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）

授業科目	医療事務 (医科Ⅲ)			担当者	占部 千亜紀		実務経験
							○
履修方法	演習	期間	通年	学科・学年	専攻科	時間数 (単位数)	120 (4)

授業の目的・内容

複雑な施設基準や届出の状況があるカルテを読み解き、正確なレセプトを作成し、医療保険制度の全体の概要を理解する。またDPCレセプトの作成と点検を行う。

到達目標

- ・各公費の制度と在宅医療について理解すること。
- ・DPCレセプトの点検まで理解すること。

授業計画

【前期】	【後期】
1～4. 医療保障制度の復習	31. DPC 対象病院
5～9. 外来のレセプト作成	32. DPC 対象患者
10～15. 入院のレセプト作成	33～34. 診断群分類番号とその見方
16～17. 検定過去問題による演習①	35. DPC 対象と対象外の疾患
18～19. " ②	36～37. 包括評価部分と出来高部分
20～21. " ③	38～39. 包括点数の算定方法
22～23. " ④	40～41. 医療機関別係数
24～25. " ⑤	42～43. 包括評価部分の診療報酬
26～27. " ⑥	44～45. DPC レセプトの記載方法①
28～29. " ⑦	46～47. " ②
30. まとめ①	48～49. 診療群分類変更時の差額の調整方法
	50～51. DPC レセプトの点検①
	52～53. " ②
	54～55. " ③
	56～57. " ④
	58～59. " ⑤
	60. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・過去問題のポイントをきちんとまとめる。
- ・添削後返却されたレセプトを見直し、間違えた箇所を把握し理解する。

評価の方法・基準

- ・筆記試験 (50%)、提出物 (30%)、出席状況 (20%)

教科書

- ・『診療報酬請求事務能力認定試験 受験対策と予想問題集』(医学通信社)
- ・『診療点数早見表 (医科)』(医学通信社)
- ・プリント配布

※参考図書『薬価基準点数早見表』(社会保険研究所)

備考

医療機関での医療事務職員経験を持つ教員が、診療報酬請求のためのポイントの解説をする。

授 業 科 目	医療管理総論			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

現代日本の医療のあり方や制度を学び、収集すべきニーズのある情報を正確につかむことのできる人材となることができるよう、医療関連の法規定についての理解も深め、医療機関における診療情報管理士の価値と信頼の獲得できる知識を身に付ける。

到達目標

- ・日本の医療制度を理解し説明することができる。
- ・医療関連の法規定を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 医療資源とは①
2. " ②
3. 医療保障と国民医療費①（日本の医療制度）
4. " ②（諸外国の医療制度）
5. " ③（国民医療費の動向）
6. 日本の人口推移の現状と課題
7. 医療需要と医療供給、顕在需要と潜在需要
8. 地域医療
9. 医療の提供構造
10. 医療計画
11. 医療関連の法規定①（医療法）
12. " ②（介護保険法他）
13. " ③（健康増進法他）
14. " ④（感染症法他）
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき医療情勢について解説する。

授業科目	医療管理各論 I			担当者	大藤 雅子		実務経験
							○
履修方法	講義	期間	前期	学科・学年	専攻科	時間数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

『病院』の組織としてのあり方を学び、情報を活用した経営を行うことで健全で安全な医療提供に貢献できる診療情報管理士、チーム医療の一員として活躍できる診療情報管理士となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・病院組織を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 病院の経営管理①プロセス、組織と機能
2. " ②管理と組織
3. " ③財務・経営管理
4. " ④人事・労務管理、施設管理
5. まとめ①
6. 医療管理①診療部門
7. " ②看護部門
8. " ③メディカルスタッフ (1)
9. " ④ " (2)
10. " ⑤ " (3)
11. " ⑥スタッフ機能とライン機能
12. " ⑦ 病院業務の安全と清潔
13. チーム医療①
14. " ②
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき病院管理と保険制度について解説する。

授 業 科 目	医療管理各論Ⅱ			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

超高齢社会において高騰する社会保障費問題の是正化に貢献し、変遷する医療・介護保険制度に適宜対応できる診療情報管理士、安全と医療の質を支えることのできる診療情報管理士となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・医療、介護保険制度を理解し説明することができる。
- ・医療安全を理解し説明することができる。
- ・医療の質を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 医療保険制度①
2. " ②
3. " ③
4. DPC①
5. " ②
6. " ③
7. 介護保険制度
8. まとめ①
9. 安全管理①
10. " ②
11. 昨今の医療事故症例
12. 医療の質管理①
13. " ②
14. 診療情報管理における診療報酬請求データの活用
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき医療安全と質の管理について解説する。

授 業 科 目	保健医療情報学			担 当 者	笹川 紀夫		実務経験
履 修 方 法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

情報通信技術（ICT）の進展は、診療情報の電子化の進展、医療機関内の情報化から地域医療の情報化、さらに医療のみならず保健・医療・介護・福祉分野間の情報的連携が実現しつつある。本講義では保健医療情報の動向、医療情報システムの実際、標準化の動向、セキュリティ管理などを学習し、ICT を活用した的確な診療情報管理がいかに関保健医療の質の向上に貢献し得るかを学ぶ事を目的とする。

到達目標

- ・医療情報とは何かを理解でき、医療情報システムの必要性と情報セキュリティの重要性を理解できる。

授業計画

【前期】

1. 保健医療情報学（Health Informatics）とは
2. 医療情報の特徴と種類
3. 行政が進める医療の情報化政策①
4. " ②
5. 医療情報システム①（医療情報システムとは、病院情報システム概論）
6. " ②（部門の業務を支える情報システム1）
7. " ③（部門の業務を支える情報システム2）
8. " ④（オーダリングシステム、電子カルテシステム1）
9. " ⑤（電子カルテシステム2、地域医療情報システム1）
10. 診療情報の二次利用
11. 個人が管理する保健医療記録
12. 医療情報の標準化
13. 情報セキュリティ①（診療情報の安全管理、医療情報システムの安全管理）
14. " ②（医療情報システムにおけるセキュリティ対策）
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・講義の復習とともに講義で指示した次回の教科書の範囲を予習すること。

評価の方法・基準

- ・授業参加態度(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

授 業 科 目	医療統計学			担 当 者	笹川 紀夫		実務経験
履 修 方 法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

医療統計Ⅰでは診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報のクオリティマネジメントの考え方を身に付けることを目的とする。

医療統計Ⅱでは、情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学び、病院統計および疾病統計の知識を身に付けることを目的とする。

到達目標

- ・保健・医療・福祉分野での統計を基に的確な統計解析手法を選択でき、解析結果を基に評価ができる。

授業計画

【前期】

1. 医療統計Ⅰ① 統計的方法 (変数の種類)、データの要約 1 (記述統計 1)
2. " ② データの要約 (記述統計学 2)
3. " ③ 統計学的推測の基礎 1 (母集団と標本、母集団の特性)
4. " ④ " 2 (正規分布、区間推定)
5. " ⑤ 統計学的仮説検定 1 (考え方、手順、誤り)
6. " ⑥ " 2 (検定手法 1)
7. " ⑦ " 3 (検定手法 2、2つの量的変量の関係)
8. 医療統計Ⅰ まとめ
9. 医療統計Ⅱ① データのグラフ表現 1
10. " ② " 2、病院の統計資料 1
11. " ③ 病院の統計資料 2
12. " ④ " 3
13. " ⑤ 臨床研究の主な手法
14. " ⑥ 医学系研究に関する倫理指針
15. 医療統計Ⅱ まとめ

事前・事後学習の内容

- ・講義の復習とともに講義で指示した次回の教科書の範囲を予習すること。

評価の方法・基準

- ・授業参加態度(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』(一般社団法人 日本病院会)

備考

授業科目	診療情報管理論Ⅰ			担当者	大藤 雅子		実務経験
							○
履修方法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

診療情報管理士として院内スタッフに信頼される業務を遂行できるよう、コンプライアンスを徹底できる基礎知識を習得し、医療の未来に貢献することを可能とする情報管理を行うことのできる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・診療情報管理士資格を理解し説明することができる。
- ・診療情報管理関連法を理解し説明することができる。
- ・診療情報管理、医師事務作業補助業務を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 診療情報管理の意義と役割、歴史
2. 診療情報管理と法規等①（記載と保存について）
3. " ②（電子化、提示について）
4. " ③（医療事故対応について）
5. " ④（個人情報保護について①）
6. " ⑤（ " ②）
7. " ⑥（ " ③）
8. まとめ①
9. 診療記録の記載方式
10. 診療情報の記載①
11. " ②
12. " ③
13. 医師事務作業補助者業務について
14. がん登録の実務について
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『国際疾病分類腫瘍学（NCC監修）第3.1版』（一般財団法人 厚生労働統計協会）
- ・『TNM悪性腫瘍の分類』（金原出版）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき法令・諸規則について解説する。

授業科目	診療情報管理論Ⅱ			担当者	大藤 雅子		実務経験
							○
履修方法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

情報のあり方が常に変化する時代の中で、診療情報管理士として各現場に最適な形で情報管理を行うために必要な知識を習得し、精度の高い情報管理で徹底した業務を行うことができる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・診療情報管理媒体、その運用を理解し説明することができる。
- ・DPC 制度を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 診療情報管理士と私
2. 診療情報管理士の基本業務
3. 紙カルテ運用における診療情報管理①
4. " ②
5. 電子カルテ運用における診療情報管理①
6. " ②
7. 診療情報の提供に係る業務
8. 診療情報管理士による改善への取り組み①
9. " ②
10. 院内スタッフとしての診療情報管理士
11. まとめ①
12. DPC 制度と実務①
13. " ②
14. " ③
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき実務の内容について解説する。

授業科目	国際統計分類 I			担当者	大藤 雅子		実務経験
							○
履修方法	講義	期 間	前期	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解する。国際疾病分類 (ICD) についての理解を深め、その歴史と現在の現状、概念・種類・目的及び診療録に記載する内容に関して定められたルールを学び、分類コードをつけるための理論と技法を修得する。

到達目標

- ・ ICD 及び WHO-FIC を理解し説明することができる。
- ・ 原死因選択等の ICD 利用のルールを理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 国際疾病分類とわが国での利用
2. 国際疾病分類の歴史
3. 国際疾病分類の現状と課題
4. 国際統計分類ファミリー論
5. 主要病態の選択ルール①
6. " ②
7. " ③
8. 原死因の選択ルール①
9. " ②
10. " ③
11. まとめ①
12. 国際疾病分類の利用①
13. " ②
14. " ③
15. まとめ②

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』(一般社団法人 日本病院会)

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき ICD 及び WHO-FIC について解説する。

授 業 科 目	国際統計分類Ⅱ			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
							○
履 修 方 法	講 義	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単位数)	30 (1)

授業の目的・内容

診療情報管理士としての業務の軸となるコーディングの知識を正確に習得すること、また ICD の各章の疾病分類体系を理解することで、より精度の高い情報収集に貢献できる人材となるための知識を身に付ける。

到達目標

- ・ コーディングの基本を理解し説明することができる。
- ・ 各章の疾病分類体系を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. コーディングの基本
2. 「内容例示表」と「索引表」の使用方法①
3. " ②
4. " ③
5. 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類
6. 各章の疾病分類体系の理解① (1・2・3章)
7. " ② (4・5・6章)
8. " ③ (7・8・9章)
9. " ④ (10・11・12章)
10. " ⑤ (13・14・15章)
11. " ⑥ (16・17・18章)
12. " ⑦ (19・20・21章)
13. 原死因演習①
14. " ②
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・ 講義で学習したキーワードについての整理
- ・ 講義で学習した範囲の問題集への取り組み
- ・ 前回講義内容のテキストの読み直し

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、小テスト(20%)、試験(70%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』(一般社団法人 日本病院会)

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき ICD コーディングについて解説する。

授 業 科 目	病院実習Ⅲ			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
履 修 方 法	実 習	期 間	前 期	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単位数)	4 5 (1)

授業の目的・内容

既習の知識・技術を実際の場面に応用し、病院での診療情報管理士としての役割を展開できる基礎的能力を身に付ける。

到達目標

- ・学校での講義・実習を通して学んだ内容を実際の現場で実習することにより理論と実践（現状）の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術に応用力・実践力を身に付ける。
- ・業務全体の流れをつかむ。
- ・人間関係（その他の職種も含む）のあり方を学ぶ。

授業計画

【前期】

1. 病院の基本的機能の理解
2. 診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解
3. 診療情報管理士に要求される資質と能力の理解
4. 入院および外来診療録の管理状況の見学
5. 診療情報管理業務の実習①（フォーマットの種類）
6. // ②（記載上の規程）
7. // ③（ナンバリング・ファイリング）
8. // ④（コーディング）
9. // ⑤（点検・監査）
10. // ⑥（チーム医療）
11. // ⑦（個人情報保護法）
12. // ⑧（DPC①）
13. // ⑨（ // ②）
14. // ⑩（がん登録）
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・実習直前指導の実施
- ・実習報告会の実施

評価の方法・基準

- ・実習指導者による病院実習評価表の総合評価(100%)

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

授 業 科 目	卒業研究			担 当 者	大藤 雅子		実務経験
履 修 方 法	演 習	期 間	通 年	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単位数)	60 (2)

授業の目的・内容

医療機関で活躍できる診療情報管理士となるために必要な情報収集のスキルを修得し、その情報を他者にわかりやすくプレゼンテーションすることができる。また、実習・学会等に参加することで診療情報管理の現状や問題点を理解し、その解決策・代替案のシュミレーションを行う。

到達目標

- ・ 診療情報管理士の現状を理解し説明することができる。
- ・ 診療情報管理士の在り方と問題点、将来性を理解し説明することができる。

授業計画

【前期】

1. 診療情報管理業務の理解 ①
2. " ②
3. " ③
4. " ④
5. " ⑤
6. 医療機関における診療情報管理士のニーズの理解 ①
7. " ②
8. " ③
9. " ④
10. " ⑤
11. 診療情報管理業務の現状 ①
12. " ②
13. " ③
14. " ④
15. " ⑤

【後期】

16. 診療情報管理士の社会的ニーズの理解 ①
17. " ②
18. " ③
19. " ④
20. " ⑤
21. 診療情報管理業務の問題点と将来性 ①
22. " ②
23. " ③
24. " ④
25. " ⑤
26. 目指すべき診療情報管理士の在り方 ①
27. " ②
28. " ③
29. " ④
30. " ⑤

事前・事後学習の内容

- ・ 演習に関連した情報の収集

評価の方法・基準

- ・ 出席状況(10%)、授業態度(30%)、提出物(60%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・ 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）

備考

授業科目	総合演習			担当者	大藤 雅子		実務経験
							○
履修方法	演習	期 間	通年	学科・学年	専攻科	時 間 数 (単位数)	240 (8)

授業の目的・内容

診療情報管理士資格取得を目的として、基礎・専門・分類過程のそれぞれの問題集・模擬問題を使用して、全般的な演習を行い、合格するための知識を身に付ける。

到達目標

- ・診療情報管理士認定試験に合格することができる。

授業計画

【前期】				【後期】			
1～3.	基礎	2章人体構造・機能論	復習①	46～51.	基礎・専門・分類	模擬問題①	
4～6.	基礎	〃	③	52～57.	〃	〃	②
7～9.	基礎	〃	③	58～63.	〃	〃	③
10～12.	基礎	3章 STQ・4章 AB	復習①	64～69.	〃	〃	④
13～15.	基礎	〃	②	70～75.	〃	〃	⑤
16～18.	基礎	〃	③	76～81.	〃	〃	⑥
19～21.	基礎	5章 CD・6章 DE	復習①	82～87.	〃	〃	⑦
22～24.	基礎	〃	②	88～93.	〃	〃	⑧
25～27.	基礎	〃	③	94～99.	〃	〃	⑨
28～30.	基礎	7章 FGH・8章 IJ	復習①	100～105.	〃	〃	⑩
31～33.	基礎	〃	②	106～111.	〃	〃	⑪
34～36.	基礎	〃	③	112～117.	〃	〃	⑫
37～39.	基礎	9章 KN・11章 LM	復習①	118～123.	〃	〃	⑬
40～42.	基礎	〃	②	124～129.	〃	〃	⑭
43～45.	基礎	〃	③	130～135.	〃	〃	⑮

事前・事後学習の内容

- ・講義で学習したキーワードについての整理
- ・講義で学習した範囲の問題集・模擬問題への取り組み

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、授業態度(10%)、小テスト(80%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅱ 基礎・医学・医療用語編 第8版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編 初版』（一般社団法人 日本病院会）
- ・『診療情報管理士教育問題集（基礎・専門1～7章・8～12章）』（一般社団法人 日本病院会）

備考

DPC 対象病院での診療情報管理士経験を持つ教員が、診療情報管理士として知っておくべき基礎医学及び専門知識について解説する。

授 業 科 目	就 職 実 務 Ⅱ			担 当 者	大 藤 雅 子		実務経験
履 修 方 法	演 習	期 間	通 年	学 科 ・ 学 年	専 攻 科	時 間 数 (単 位 数)	3 0 (1)

授業の目的・内容

各医療機関に求められる人材の性質を理解し、自分に足りないものを補う対策を実施していくことで、内定を勝ち取るために必要なスキルを身に付ける。

到達目標

- ・適切な自己表現、自己主張をすることができる。
- ・希望する就職先から内定をもらうことができる。

授業計画

【通年】

1. 履歴書とは
2. 自己分析①（長所・短所）
3. " ②（PRポイント）
4. 自己紹介
5. 他己紹介
6. 医療機関の分析①
7. " ②
8. " ③
9. 志望動機
10. 面接練習①（長所・短所）
11. " ②（自己PR①）
12. " ③（" ②）
13. " ④（志望動機①）
14. " ⑤（" ②）
15. まとめ

事前・事後学習の内容

- ・日々の言葉遣い、行動を意識する。
- ・医療関連ニュースに興味を持ち、内容を理解する。
- ・いつでも試験を受けることのできる心構えを持つ。

評価の方法・基準

- ・出席状況(10%)、授業態度(40%)、提出物(50%)によって総合的に評価する。

教科書

- ・プリント配布

備考

